

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
凝固止血検査学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	五十嵐 康之 ※
授 業 概 要					
凝固止血機構の検査に必要な血小板、凝固・線溶系について、産生、仕組みと働きについて理解する。疾患については、分類、主症状などを学び、検査所見と臨床的意義を理解する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・止血機構について解釈する。</li> <li>・凝固系の仕組みについて説明できる。</li> <li>・線溶系の仕組みについて説明できる。</li> <li>・疾患について病気の成因について説明できる。</li> <li>・疾患の症状、病態について説明できる。</li> <li>・診断基準を具体的に述べる。</li> <li>・検査結果から疾患を類推できる。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
五十嵐 康之：受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、凝固止血のメカニズムと凝固疾患の成り立ちや経過について、臨床データと関連付けながら概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	出血と止血の仕組み、一次止血と二次止血				五十嵐 康之 ※
2	血小板の機能				
3	血小板異常症（1）：血小板機能異常、血小板機能検査				
4	血液凝固機序と凝固因子				
5	凝固検査の原理				
6	凝固制御機構、凝固系の分子マーカー				
7	線維素溶解機序と線溶因子				
8	線溶制御機構、線溶系の分子マーカー				
9	血管異常症：血管性紫斑病				
10	血小板異常症（2）：血小板減少症				
11	凝固因子異常症（1）：血友病、後天性血友病、その他凝固因子欠損症				
12	凝固因子異常症（2）：von Willebrand 病、ビタミンK 欠乏症				
13	凝固因子異常症（3）：播種性血管内凝固				
14	線溶因子異常症				
15	血栓性素因：凝固制御因子欠損症、抗リン脂質抗体症候群、他				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び参考書の復習を十分に行い、しっかりと基礎知識を理解すること。</li> <li>・参考書等を活用しながら疾患の病態を正しく理解し、基礎知識と検査所見を関連付けて理解すること。</li> <li>・不明な点は後回しにせず、速やかに解決すること。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜試験を実施する。</li> <li>・遅刻や欠席等で月曜試験を受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は考慮する。</li> <li>・定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。</li> <li>・再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。</li> </ul>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>[教科書]</p> <p>最新臨床検査学講座 血液検査学 第2版 奈良信雄 他 医歯薬出版</p> <p>ビジュアル臨床血液形態学 第4版 平野正美 他 南光堂</p> <p>病気がみえる vol.5 血液 第2版 土屋達行 他 MEDIC MEDIA</p>					